

件名	令和6年度 第1回 福井市障がい者自立支援協議会 就労支援部会報告書		
日時	令和6年5月15日(水)14:00～15:30	会場	福井市役所別館第11会議室
出席者	別紙参照(敬称略)		
欠席者			
協議事項 報告事項	1. 制度研修会の報告 2. 今年度の取り組みについて ・就労支援ガイドブック更新 ・特別支援学校実習の日程共有について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span> ・合同説明会について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span> ・総合交流会について ・就労支援部会予定(案) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</span> 3. 就労支援部会のあり方について		
報告事項	1. 制度研修会の報告 〔伊藤委員〕 4月17日に報酬改定に係る制度研修会を開催した。4月に報酬改定があり、同じサービスを提供している事業所間で情報共有や疑問点の解消ができる機会を作ることを目的に研修会を企画した。研修会の中ではグループワークを中心とし、サービスごとに疑問に思っていることを出し合い、不明な点は行政の担当者に確認するという形式で進行した。参加者は運営、部会員合わせて合計42名、過去最多の方に参加いただいた。イベント後のアンケートの中で事業者の方の話を聞いて参考になったという意見が多く聞かれた。関心のある研修会であったことも加味し、来年度以降も継続して行っていければと考えている。 2. 今年度の取り組みについて (1)就労支援ガイドブック更新 〔障がい福祉課藤田〕 平成30年に就労支援部会で作成した市内の就労支援サービス提供事業者や就労支援機関の情報をまとめた冊子になる。今年度の事業所情報に変更等がある為、修正を行いたいと思う。後日、就労支援事業所に修正依頼を行う。修正事項は夏頃を目処に完了する予定となっている。 (2)特別支援学校実習の日程共有について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span> 〔障がい福祉課藤田〕 昨年度に特別支援学校の実習の日について、回答していただいた内容をまとめたものになる。今後も就労支援事業所にも共有し、実習受け入れの際などの参考にしてもらえたらと思う。 (3)合同説明会について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span> 〔障がい福祉課藤田〕 福井市障がい者自立支援協議会主催で、就労支援事業所の合同説明会を開催した。新型コロナウイルスの影響により4年間中止していたが、昨年度より再開している。昨年は10月21日に開催、29事業所がブースを出店、来場者は150名ほどになった。今年度は9月7日土曜日、会場はショッピングシティベルのあじさいホールで開催する。今年度については、福井労働局やハローワーク、しごと支援課が主催する、ワークフェアと共に開催したいと企画している。同時開催については承認を得られた為、具体的な運営については今後調整を進めていく。 (4)総合交流会について 〔障がい福祉課藤田〕 昨年度はA型、B型、移行それぞれの事業所ごとにネットワークミーティングを開催し、事業者同士のつながりを構築した。今年度はネットワークミーティングを統合し、事業所間の交流や繋がりを目的として新たな研修会を開催する予定となっている。 (5)就労支援部会予定(案) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</span> 〔障がい福祉課藤田〕 令和6年度の予定で日付が入っている部分があるが、9月7日の合同説明会以外は現在未定となっている。第2回の開催時期は去年と同様の時期を予定しているが、今後調整していく。		
協議事項	3. 就労支援部会のあり方について		

意見

〔中谷部会長〕

今年度、人事異動等で新たに委員になられた方もいる為、自己紹介や事業所紹介、就労支援部会で学びたいことや意見、提案などあれば一言お願いしたい。

(自己紹介、事業所紹介省略)

〔磯崎委員〕

相談支援事業者連絡会からの派遣の為、相談員から上がってきた地域課題を適切にこの協議会に上げていく、届けていく、その流れをしっかりと作り、定着させていかなければならないと思っている。ほか今現在、A型の事業所が減り、一般就労、障害者雇用が多くなってきているのではないかと見込んでいる。障害者雇用の支援というものがどのように充実していくのか、確認しながら皆さんと色々協議できたらと思っている。

〔山崎委員〕

たくさん関係機関の方が集まる場に参加させてもらっている為、それぞれの視点での福井の現状を知っていきながら、どのような就労のサポートの仕方が今求められているのかとても知りたいと思っている。また部会の活動として、市内の福祉サービス事業所の方々とも共有していきながら事業所の繋がりも作りつつ、より良いサービス提供というところを勉強していけたらと思っている。

〔田中委員〕

病院の外來、入院の患者さんも含め、就労を希望されている方がたくさんいる。また就労の場面で、「よくわからないけどもう来なくていいと言われた」そういった言葉を日々聞く。障害抱えている皆さんの本当の声、本当の現状が病院の方にスムーズに届くようになってほしいと思っている。重症化し入院、就労を中断しないといけなくなる前に、一緒に連携していけたらと思っている。

〔清水委員〕

福祉、教育、医療、いろんな方々から色々な情報を聞き、学校としてできることは何なのか、教育としてやらないといけないことは何なのかを自分自身も考えていけたらと思っている。

〔加藤委員〕

今年度総合支援法の改正、雇用促進法の改正、差別解消法の施行もあり、障害者年度なのかと理解している。磯崎委員からコメントがあったように、福祉的就労から一般の就労の方に寄ってくるような動きになるのかということでは強く感じている。部会、福祉、行政としっかり連携を取りつつ、協力できる部分は積極的に取り組めたらと思っている。

〔早川委員〕

なかなか就労できない、準備もまだ全然整ってない、でもご本人は一般就労したい、家族も受容しきれてない、といった相談が多く、年単位で皆さんにどうにか繋いでいるような状態である。皆さんのお知恵を借り、一緒に考えていただけると本当にありがたいと思う。

〔堂本委員〕

福祉、市内での就労支援の現状や研修に向けてのニーズを教えてくださいたい。

〔橋本委員〕

就労選択支援というものが徐々に適用されていくということで、どういうものがあるのか、特別支援学校生徒にどのように関わっていくのか、適用されていくのか気になっている。この部会でも今後話題になると思う為、学んだことを生徒、保護者の就労支援にどのように反映させていくかを考え勉強していきたい。

〔富田委員〕

福祉の知識というものがまだ乏しい為、部会に参加し勉強していきつつ、患者さんを通して事業所の方に高次脳機能障害を知ってもらいながら、いい連携を取っていきたいと思っている。

〔岡田委員〕

企業向けに講演会等しており、障害者雇用、企業が障害者を雇うまくいっているところをピックアップするような形で講演会をしている。今年度も同様に行っていきたいと思っている為、事例や、企業にどのような障害者の方が勤めているのか等勉強させていただきたい。

〔富田委員〕

任期途中だが本年度より参加することになり、合同説明会の担当の任命を受けている。昨年、4年ぶりに開催し盛況に終わったが課題も出てきた為、今年度その課題等も生かして昨年よりも盛大にできればと思っている。

〔藤野委員〕

制度に関する事、また支援の方法について、どうしても私たち単独で考えてしまう。これこそいいと思い普段支援をしているが、そうじゃないその支援のあり方や、そういった情報を他事業所、多職種の方々とこの交流の中で得ることで、自分自身の価値観をアップデートしていくことがすごく重要になってくると思っている。その中で、この今年度の制度改正における短時間雇用や副業という考え方を、今後の就労支援の中で生かしていけるようにまた自分自身の支援の質を高めていきたいという風に考えている。

〔足田委員〕

公の機関の為、行政に要望等をしていきたいと思っている。この自立支援協議会自体、福井市と坂井市とあわら市にあり、全て参加する機会があるが、この会自体が1番進んでおり、しっかり運営されていると思う。ただ福井市の障がい福祉行政は遅れていると思っている。私たちは、障害者と呼ぶ時、患者、児童生徒、利用者等いろんな呼び方をするわけだが、一重に人間であり、社会人であってほしいというのが願い。その人たちが安定し、長く社会で活躍をし、自己実現、目指すものになれる等、送り出すことが目的ではなく、その人が次の会社で活躍ができる、みんなに認められる、愛され続けられる、そういった方が本質的に大事だと思っている。就労上の障害者は変わらないが制度が変わってしまい、同じように働いていたが、ある日突然やっていけない A 型が生まれ、一般企業の方でも雇用保険の改正がある、社会保険の改正がある等、その人が悪いわけではないが時代の変化についていけない、制度の改善に適用できない人たちを、送り出した後も守られるような形で就労支援をやっていきたいと思っている。ダブルワークが公に認められるようになったが Q&A には週 10 時間程度と書かれているが、おおむね 10 時間というのをどういう風に評価するか。その個別判断の権限というのは市町村にあればいいと思っている。5 時間契約で、週 25 時間でも 30 時間でも、サービスと併用してもいいと思っている。1ヶ月や 2ヶ月期限を決め、必ず定着をさせてほしいと市役所からの要望があればそれでいいのではないかとと思っている。県・市が意見、要望を打ち出し、福井の目指すモデルを作してほしい。1人1人がやはり私たちと一緒に利用者の権利を守ってくれる存在であってほしい。今日1日の対応でその人の人生が大きく変わる時が今までに何回もあった。即日対応をしてほしいとは言わないが、障がい福祉計画の策定にこの自立支援協議会の意見をきちんと吸収して運営していただけたらありがたい。

〔中谷部会長〕

3 年間の見通しを持った企画運営、役割分担や組織作り、企画の書類や写真などの共有を今まで部会でしてこれなかった。今年度は皆さんの意見を集約し、部会運営に反映していける土台作りを増していくことが、自分の 3 年の大きな役割かと思っている。3 年間ではできることが限られてくるが、ここに集まったメンバーとともに就労という分野の福祉業界を盛り上げていけたらと思っている。

○意見交換

質問

〔中谷部会長〕

今 A 型が B 型に転換する事業所が何件かあると聞いている。今後 A 型がステップアップというよりも、障害者雇用が増えていくのではないかと、就労選択支援とはどういったものかと先程話があった。個人的には、部会の方で勉強会等の研修の企画をしていかなければならないと思ったがどうか？

意見

〔磯崎委員〕

A 型ではなく一般就労、障害者雇用が増えていく件は、雇用力の問題もあると思っている。流れとしては、できればそういった企業に就職というのが一般的だと思う為、どんどん促進して行ってほしいと思うし、手伝いをしていきたいと思っている。本当に 1 番は、会社の方がどこまで障害者雇用を理解し、どのようなビジョンを持っているか、どういった支援が可能かを教えてもらえる場があるといいと思っている。今現在ステップアップしたい方に、気軽に A 型を勧められない。不安定な場所だったりする為、そこは一般企業が安定していればそれが 1 番いいのではないかとと思っている。

〔加藤委員〕

A 型から一般就労の話は、これまでよりかは促すという全体の流れになるのではないかと考えているが、一方でそう簡単ではないと皆さんは思っているのではないかとともに思っている。これまでハ

	<p>ローワークにいても、この人は一般就労いける、この人は難しいみたいなそんな簡単な線引きができる訳がなく、与えられるその職種、業務、就労先の配慮のあり方、接し方、そういったところで結局当事者のその可能性の範囲は変わってくると思っている。全体の雰囲気は変わってくると思うが、見極めなければいけない。見極めるにあたり、就労選択支援という決まったツールを使い福祉サービスの体系の中でやっていくべき方なのか、あるいは一般就労という形の選択肢になるのか、可能性の提示という部分の角度を高めるといことだろうと理解している。ただ橋本委員言ったように、就労選択肢がどういうツールで、実際どういう風に現場の業務に接続されるのか正直よく分からない。来年10月から施行で、今後通知文書等が行政に流れてくると思う。ハローワークも就労選択支援の内容を踏まえ、職業相談、職業指導をするという流れになっていく為、自身も注視していきたいと思っている。</p> <p>また、企業がビジョンを持つこと、支援ツールを知ってもらうことは非常に重要だと思う。ただ2月にハローワークで雇用率を達成していない事業所向けにアンケート調査をしたところ、ほとんどの事業所で会社として定まった対処方針、ビジョンは持っていないという回答だった。しかし全く検討していないというより、検討中というところが多かった為、認識はされているのだと思う。何に課題を抱えているのか、課題が明確化されていない事業所もやはり多い。そういった事業所に限り、どういった支援を求めると問うと、半分以上面接会だと回答があった。アンケート調査する際の予想として、そもそも障害の理解がない等基本的な部分について回答あると思っていたが、そこはほとんどなかった。分かっているつもりになっているのか、とりあえずまず実践と思っているのかと見て眺めていた。企業が興味を持っている面接会で個別に会話をするのだが、それで成功し採用、定着される会社もあれば、就職機会をしたがすぐ退職される会社、1人も採用できない会社ということで、障害当事者の方からすると、企業側もそういった実践の場を通じて、障害者雇用あるいは障害について理解して欲しいと思う。そうしながら、全体のムーブメント、気持ちを持ち上げていくといいのではないかと思う。合同説明会とワークフェアを今回は合同で開催するし、社会的なその流れを作り、その中で事業所がやらないといけないと感じ、自主的に動いてもらえたらと思っている。</p>
質問	<p>〔中谷部会長〕 企業に定着するまでの道のり長いことや、社会的な流れを作り自主的に動いてもらうといった所で、商工会議所の岡田委員、去年企業向けに障害者雇用がうまくいっているところをピックアップし研修会を実施したとのことだが。</p>
回答 質問	<p>〔岡田委員〕 日本エー・エム・シーが障害者雇用で6名程雇用されており、その事例を皆さんの前で講演してもらった。参加者は、県内企業の総務部長等 40名弱だった。一般就労になる為の、一般の企業が見てこういった道のりがあるというフローチャートや、ガイドブック等はあるのか？</p>
回答	<p>〔加藤委員〕 去年11月ハローワークのホームページに「企業向け事業主の皆様へ」という障害者雇用のページを作った。そのサイトに障害者雇用の全体的なルール、始めるにあたりどういうところから始めればいいのか、ハローワークで障害者の専用求人載せられる、トライアル雇用制度がある、特定求職者雇用開発助成金という助成金がある、障害職業センターで実施している定着支援のためのジョブコーチ支援がある、最後には障害者雇用率の業務統計データ等、全体網羅しているページを作った。通知文書を送る際も、こういったところ参考に取り組んでほしい、分からなければ聞いてほしいという形で周知はしている。</p>
意見	<p>〔足田委員〕 就労選択支援という言葉が何回か出ていると思うが、まだ制度の詳しい概要は全く分かっていない。福井市でも詳しい情報というのは特段ないと思うし、1番学校が影響を受けると思っている。ここにいる委員のうち何社かも就労選択支援をやるつもりではいるが、実績も必要になる為、全事業所ができる訳ではないと思う。就労選択支援、商工会議所からも話があったが、その企業側からすれば、どんな人が来てくれどんな能力があるのか、問題が起きないか、そんな心配をたくさんされると思う。引きこもり支援をした結果、9割ぐらいが何らかの障害を抱えおり、障害者手帳をつけて社会に送り出すというのがほぼ現実的な選択になっている。企業とお付き合いをするわけだが、雇用してもらえるか訪問すると「それもいいがうちにいるあの子、もしかしたら障害じゃないかと思っているがどう思う？」と相談をされることが多い。特定のことはできるが特定のことは</p>

<p>報告</p> <p>意見</p>	<p>できない等、偏った方がすごく多い。そういった偏った人に対し、偏った仕事を提供してくれれば いいと思っている。人手不足の世の中で、人材の確保というのは課題だと思う為、ぜひ商工会議 所から、委員会の後に時間を設けてPR すればいいと企業につなげていってほしいと思う。</p> <p>〔中谷部会長〕 時田氏、就業体験やそこから一般就労に結び付けた実績を教えてほしい。 〔時田委員〕</p> <p>令和5年度、就業体験を利用された方は 56 名。精神 38 名、知的 9 名、身体 6 名、発達1名、そ の他2名だった。他の事業所に席がある方というのが、56 名。うち、移行 18 名、B 型 5 名、A 型 2名。逆に何の支援もないという方、ハローワークから申し込みがあった方が 31 名の半数以上を 占めている。エリアとして福井市だけではなく、福井、三国、大野、武生入っての56名になる。 就業体験先は、製造業 が 36%、福祉医療関係が 21%、流通業・卸売事業が 13%だった。就業 体験の本来の目的ではないが、就業体験からそのまま雇用に繋がったのが約 60%~70%だっ た。今年すでに 15 名雇用促進事業を活用している為、前年の 56 名を超える予測をしており増 加傾向にあると思う。紹介になるが、6 月 25 日と 6 月 26 日障害者のための企業見学バスツア ーを開催しようと思っている。6 月 25 日は、午前中金子眼鏡株式会社、午後エルシーコープ 株式会社の企業見学ツアーを予定している。6 月 26 日は、株式会社ユーエーシーエーグリー ネット、午後は株式会社シンドウを予定している。詳細は、5 月下旬もしくは 6 月上旬に周知でき るようにしたいと思っている。</p> <p>〔足田委員〕 昔から企業見学会を続けていると思うが、似通ったところが多い傾向があると思う。様々な職種、 様々な企業、様々な地域にもあった方がいいと思っている。先程、定着率の話をしていたが、制 度上はどうしても半年までの定着というのを大きく叫ぶ。ただ企業側にしても利用者側にしても、 半年定着したからどうかなのか。せめて 2 年定着位はやはり 1 つの目標・目安にしていかなけれ ばならないと思っている。ハローワークの助成金や特開金が 2 年・3 年で切れる為、悲しいことに 会社にも特開金が切れたから…と来られる人が何人もいる。それを聞くと悲しくなるが、企業側 も仕方がないと思う。やはり 2 年着率・5 年定着率が出せるような、そしてなぜ 5 年定着しない のかの原因を市の方で集計し、私たちに指導・助言をしていただけるとありがたい。</p> <p>〔中谷部会長〕 定刻となった為、以上を持って協議を終了する。 〔障がい福祉課藤田〕 本日の就労支援部会は終了する。次回は 1 月頃を予定しているが、その間にも総合交流会や合 同説明会等皆さんに協力いただくことが多々あるかと思う為、また連絡をさせてもらう。</p>
<p>次 回</p>	<p>令和7年1月 (場所)未定</p>